

東京ほくと医療生協の王子生協病院では、女性医師の子育てを応援する復帰支援プログラム「カトレア」を設けています。指導医の平山陽子さんと、「カトレア」を利用している研修医の櫻井奈緒子さんにお話を伺いました。今月号と来月号で続けて紹介します。

女性医師が子育てしながら 経験を積める 復帰支援プログラム「カトレア」

医師が独り立ちできるような 環境を整える必要性

医師が独り立ちできるまでには、長い年月がかかります。まず、大学の医学部で6年間学び、医師国家試験に合格し、医師免許を取得。その後、初期臨床研修(以下、初期研修)を2年で修了後、後期臨床研修(以下、後期研修)を受けます。

このように研修期間が長いと、女性医師にとって出産や子育ては大きな問題です。最近では、社会経験を積んだ後に医師をめざす人も増えており、子育てと研修を両立させることが、ますます難しくなっています。

現在、王子生協病院で後期研修を受けている櫻井奈緒子さんは、「研修を受ける方の中

には、医師としての仕事を優先させ、出産をあきらめる方もいます。また、初期研修で一旦中断し、子育てをしてから後期研修に臨む医師も最近が増えていきますね」といいます。

医師不足と、少子化。2つの問題を解決するには、医師が子育てしながら働き続けられる体制が求められます。そのためには、医師の研修制度や病院の職場環境を見直すことが不可欠です。

子育てしながら ゆっくり研修

このような流れの中、王子生協病院では2010年、子育てをする女性医師を応援する復帰支援プログラム「カトレア」を全国に先



櫻井奈緒子さん(左)と平山陽子さん

※初期臨床研修

医師法により、診療に従事しようとする医師は、大学病院または厚生労働大臣の指定する病院で2年間以上の臨床研修を受けることが義務付けられています。研修医は、内科・救急部門・地域医療の必修3科目と外科・麻酔科・小児科・産婦人科・精神科から選択した2科目を指導医の下で学びます。

後期臨床研修

初期臨床研修を修了した医師を対象とする臨床研修で、専門分野における医療技術や知識の修得が目的です。

駆けて誕生させました。このプログラムは、通常3年の後期研修を3年半あるいは4年ほどかけてゆっくりおこなえるものです。加えて、子育てとの両立を考えた勤務体制・時間になっています。

指導医である平山陽子さんが、このプログラムの成り立ちを教えてくださいました。「もともとこの制度は子育てをしながら後期研修を受けていた女性医師が、自ら考案したもの。利用するのは櫻井さんで3人目になります。『カトレア』の名前には、『かあさんトレーニング』と、カトレアの花言葉『あなたは美しい』という2つの意味が込められているんですよ」

穏やかな気持ちで働けるようになった

「カトレア」を利用している櫻井さんは、一般企業で働いた後、医学部に入り直して医師になりました。初期研修の時点でお子さんが生まれていたため、子育てをしながら大学病院で初期研修を受けました。

「研修医は当直があり、土日勤務は当たり前。私の場合は、初期研修では免除してもらい、17時に帰る生活をしていました。周りの方たちが本当に協力的で、理解がありました」



それでも研修する科が変わるごとに、教授に自分が子育て中であることを説明し、同僚には負担をかける日々。櫻井さんは申し訳ない気持ちでいっぱいになり、精神的に疲れ果ててしまったといいます。

「後期研修で王子生協病院のプログラム『カトレア』に入ることができ、本当に助かっています。最初から制度としてあるので、穏やかな気持ちで働ける点が大きいですね」

現在、「カトレア」のように女性医師の子育てを支援する仕組みが制度化されている例は、全国にありません。女性医師が医師の経験を積みながら、子育てをしていく必要性は、今後ますます高まっています。

(編集部)

(次号につづく)

東京ほくと医療生協 王子生協病院

〒114-0003
東京都北区豊島 3-4-15
TEL 03-3912-2201
<http://t-hokuto.coop/oujiseikyo-hp/index.htm>

